越前国府発掘プロジェクト (2024年度)

~越前国府跡発掘調査~

令和5年度(2023年度)に本興寺境内(国府1丁目地係)で実施した越前国府跡発掘調査では、平安時代の遺構が検出されました。

令和6年度の調査ではその東隣を調査し、5年度に検出された区画溝の続きが見つかりました。溝は調査区よりさらに東へ続いていくため、溝の範囲確定には至りませんでした。

なお、平安時代に使われていた須恵器や土師器、緑釉陶器などが出土しています。

②緑釉陶器(椀)

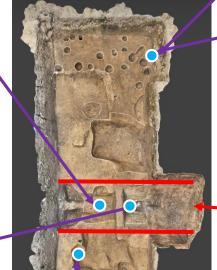


溝の埋土から出土した緑釉 陶器の底部。底には糸切り 痕が残っている。

③須恵器(高坏)



須恵器の高坏の脚部。通常とは 異なり、生焼けのような仕上が りになっている。



④土師器 (皿)



土坑埋土から出土 した土師器。皿の 一部と思われる。

⑤ピット (平安時代)



調査区北東側に位置する穴。 遺物がまとまって出土して いる。

⑥須恵器など



ピットの中には、須恵器の坏身や 甕の一部が重なるようにして埋 まっていた。

①区画溝



国府関連施設の区画溝の可能性がある。西側は後世に掘られた穴(かく乱)の影響で、溝の一部が壊されている。

えちぜん こくふ はっくつ

越前国府発掘プロジェクト(2024年度) for Kids

えちぜん こくふ あと はっくつ ちょうさ

~越前国府跡発掘調査~

ねんど ねん へいあんじだい えちぜんし えちぜんこく こくふ せいじ ちゅうしんち さが 2023年度から5年をかけて、平安時代には越前市におかれていたといわれる越前国の国府(政治の中心地)を探すため

の調査をしています。

ねんど ちょうさ へいあんじだい みぞ み みぞ こくふ やくしょ まわ かこ みぞ いちぶ 2024年度の調査では、平安時代の溝が見つかっています。この溝は国府にあったお役所の周りを囲んでいた溝の一部か

もしれません。また、平安時代に使われていた食器なども見つかっています。中には、貴族やお役人しか使えなかったと

みどりいろ とうき み

される緑色の陶器も見つかっています。

りょくゆうとうき わん (2)緑釉陶器 (椀)



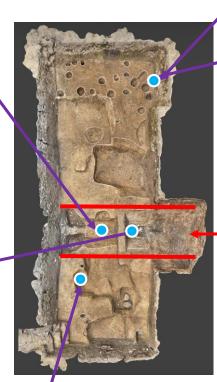
みどりいろ とうき へいあんじだい きれいな緑色の陶器です。平安時代 こうきゅうひん には高級品とされていました。

まえき たかつき ③須恵器 (高坏)



わんした あし かたち お椀の下に脚がついている形 しょっき あし ぶぶん み の食器です。脚の部分だけが見

つかっています。



はじき ④土師器(皿)



はじき 土師器とよばれる へいあんじだい しょっき 平安時代の食器で っか す。お皿として使

われていました。

ついあんじだい (平安時代)



へいあんじだい ほ あな 平安時代に掘られた穴。 しょっき う 食器などがたくさん埋

まっていました。

^{すえき} ⑥須恵器など



 あな なか
 はいいろ
 わん
 おお
 つぼ

 穴の中から、灰色のお椀や、大きな壺

 いちぶ み

 の一部が見つかっています。

くかくみぞ ①**区画溝**



へいあんじだいつく みぞ こくふ 平安時代に作られた溝です。国府にあ ゃくしょ まわ かこ みぞ ったお役所の周りを囲んでいた溝かも

しれません。